

西原自然公園を育成する会の紹介

「平成28年トピックス10」

通常の作業の他に、昨年の活動で目立った出来事です。

- ① 2月～12月 田無庁舎食堂に「西原自然公園情報コーナー」
一年間、毎月の西原自然公園に咲く花の情報などを掲示しました。

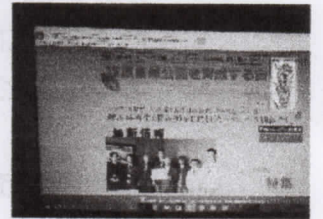


- ② 2月 16年前に初めて萌芽更新のスタートをした場所を再更新。
樹木は予想通り16年で再更新出来るまでに成長。自然の生命力には
感動します。

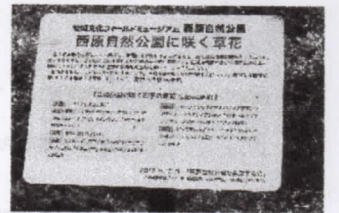
- ③ 7月 ホームページを作りました。「雑木林若返り活動」の記録
と共に、花の開花や自然の変化をリアルタイムでお知らせできるよ
う新しい情報を提供して行きます。



- ④ 8月 雑木林の花の女王、山百合が開花しました。
更新をして明るくなった場所に5年目に咲きました。
里山の香りいっぱいでした。



- ⑤ 10月 草木の説明板2枚と樹木ラベル29枚を設置しました。
これは、三菱UFJ環境財団からの助成金20万円で作りました。
今年は、市で案内板を新設してもらえそうです。



- ⑥ 10月 絵本作家長田真作氏の指導「アートとしぜんて遊ぶラボ」
として、大きなアート作品「青の世界」を作りました。
芝久保公民館に2か月掲示しました。



- ⑦ 11月 武蔵野市から市の職員ほか30名の見学がありました。
この他に谷戸公民館の講座の実習、東久留米市かの見学団など
今年は100名以上の応接をしました。



- ⑧ 11月 TOKYOMXテレビ「東京多摩日記」で紹介されました。
雪の日の取材、12月17日放映でした。「昔ながらの雑木林が見られる
公園」として紹介されました。



- ⑨ 11月 芝久保公民館まつりのイベント「エンジョイ里山タイム」
を引き受けました。西原自然公園のドングリや、木の実で草木染、
リースづくり、カブトムシ工作をしました。



- ⑩ 12月 NHK, 読売新聞社、あしたの日本を創る協会主催の
「あしたのまち、くらしづくり活動賞」を受賞しました。
活動が、「くらしづくり」と評価されてうれしく思います。



西原自然公園の雑木林を更新しています！

西原自然公園の雑木林が大木になりすぎて暗い林になり、江戸時代から受け継がれてきた雑木林が、このままでは老化して次世代に受け継ぐことができないのではないかと考えて、市に計画書を出し17年前から更新を始めました。

現在2分の1が若い林になりました。

その結果、木が伐られて自分にちょうど良い明るさになると、数十年間待っていたかのように、いろいろな花が咲き、虫も増え多様性が戻ってきました。

25年にはこの活動方針が評価され、東京都公園協会から最優秀賞を受賞し、また26年は国土交通大臣賞を受賞、昨年は「あしたのまち・くらしづくり活賞」を受賞しました。

今後の方針が決まり、「地域文化フィールドミュージアム」として武蔵野の自然博物館的な公園を目指すことになりました。

「自然の中にいるのが好きな方」「身体を動かすのが好きな方」「植物を育てるのが好きな方」ぜひ、一緒に活動されませんか？

活動日 毎月1日と第3土曜日 9:30~12:00
作業内容 育苗 植樹 剪定 間伐・徐伐 下草刈
茸栽培等の定例野外作業の他、
市民参加の体験会や見学会、観察会などを行います。
会費 年 1,000円
会員数 30名
ホームページ 「西原自然公園を育成する会」

西原自然公園を育成する会 代表 池田干城 463-5561